

学校の教育目標：「自他を大切にし、共に伸びる児童の育成 ～元気・笑顔・成長～」

相良村立相良南小学校だより

校訓「やさしく かしこく たくましく」



「元気・笑顔・成長」南小

第4号 令和5年5月29日発行

発行者 校長 田口広治

児童数 173

PTA数 127

子供も学び、教師も学んでいます！

■子供たちがしっかりと学ぶためにも、私たち職員も日々学び続けています。

毎時間の授業はもちろんですが、「研究授業」も大きな学びの場です。

5月9日（火）には、3年総合「相良村の自慢」として、お茶についての授業を米多先生がされました。お茶について調べる課題を考える授業です。子供たちは米多先生が準備された動画などしっかり見て、どんなことを調べていくか考えたり話し合ったりしていました。

5月10日（水）には、2年道徳「自分できちんと」という主題で、那須先生が授業をされました。「自分のことは自分でする心」について考えを深める授業です。子供たちは2年生になって自分でできるようになりたいことを出し合っていました。

5月24日（水）には、5年保健「心の健康」という内容で、轟先生が授業をされました。子供たちは不安や悩みの対処法を考えたり話し合ったりしながら、自分にあった方法を見つけっていました。タブレットを使った意見交流も行っていました。

■さらに、5月18日（木）には椿原正和先生の模範授業がありました。椿原先生は、4年前まで本校に勤務され、現在は教授法開発研究所の理事長として、全国各地の研修会や講演会で講師を努められています。

3年生に国語「赤とんぼ」の授業をしていただきました。子供たちは緊張しながらも、背中をしっかりと伸ばして、楽しく授業を受けていました。大人も悩んでしまう問題に対して、子供たちから素晴らしい意見が出ており、よく頑張っていました。

授業の中で、椿原先生は「正しく読む」「正しく書く」ことを強調されました。「雑にやったりいい加減にやったりすると、脳が覚えなくていい、落書きだと思ってしまう」などの言葉もかけられます。また、「あいさつは相手の目を見てする。社会に出て通用する力になる」とも言われます。とても大切な視点を教えていただきました。

授業後には講演もしていただき、職員一同、深く学ぶことができました。



全員元気・全員笑顔・全員成長

■5月23日(火)の全校集会で「元気・笑顔・成長」について話をしました。これまで子供たちの素晴らしい「元気・笑顔・成長」の様子を見ることができています。

この「元気・笑顔・成長」について、「全員が」という願いを持っています。しかし、「全員が」となると、まだまだのところもあります。例えば、全員が元気なあいさつができているか、全員が笑顔で生活できているか、全員が成長できているか、ということです。

1年生児童のエピソードとして、「入学して登校のとき家の人の車に乗ってきていたが、その後自分の足で歩いて登校しています。あいさつも遠くから元気な声が聞こえてきます。素晴らしい成長です。私も笑顔になりました」との話をしました。

ぜひ「全員元気・全員笑顔・全員成長」を目指していきたいと思っています。



↑聞き方がとてもいいです。背中を伸ばして集中して聞いています。



←相良南小学校HPもぜひご覧ください。

不審者対応訓練・引き渡し訓練

■5月19日(金)不審者対応訓練を行いました。子供たちはとても素早く、静かに避難することができました。私からは「いかのおすし」の話をしました。

「しらない人についていかない・知らない人の車にのらない・おおきな声でさけぶ・すぐにげる・家の人や先生にしらせる」のことうです。

駐在所の守永巡査長様からは、何かあったら「助けて」と大きな声で言うことなど、具体的に話をしていただきました。また、子供たちの動きをほめていただきました。

学校内では全職員で子供を守る行動を行います。学校外では自分の命を守る行動を行えるようにしてほしいと思います。

■5月25日(木)には災害に伴う引き渡し訓練でした。保護者の皆様には大変お世話になりました。スムーズな引き渡しができたようです。

緊急時の対応について、やはり備えが大事です。不審者対応や災害対応など、ご家庭でも話し合わせてみてください。

